

【広島県府中市】

1 人 1 台端末の利活用に係る計画

1. 1 人 1 台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

本市では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、GIGA スクール構想による 1 人 1 台端末や学校における ICT 環境の整備が飛躍的に進展した。今後は、この環境を活かし、デジタル技術とデータを活用した知見の共有と新たな教育価値の創出により問題解決や価値創造ができる人材育成を目指していく。

2. GIGA 第 1 期の総括

GIGA スクール構想の第 1 期では、令和 2 年度に全ての学校において 1 人 1 台端末の整備や電子黒板の設置等、ICT 環境の構築を完了した。構築された ICT 環境を活用し、タブレットドリル等のデジタル教材の充実により個別最適な学びの実現に努めてきた。

一方で、学校間や教員間で利活用に差が生じており、今後も児童生徒の学びの場面に応じた活用方法について研修等を充実させるとともに、好事例を共有していくことで、教職員の利活用頻度の向上を目指していく。

3. 1 人 1 台端末の利活用方策

端末を日常的な学習活動に組み込み、児童生徒が自ら進んで使用する環境を整える。学習の様々な場面で端末を活用することで、ICT が「特別なもの」という認識をなくし、自然に使用される状態を目指す。

また、児童生徒一人一人の理解や関心に応じた学びを可能にするとともに、クラウド上での共同作業や意見交換等を通じて、他者とともに学び合う「協同的な学び」の実現を目指す。

さらに、様々な学習支援コンテンツ等の効果的な活用により、学びの保障や学びの質の向上を図る。